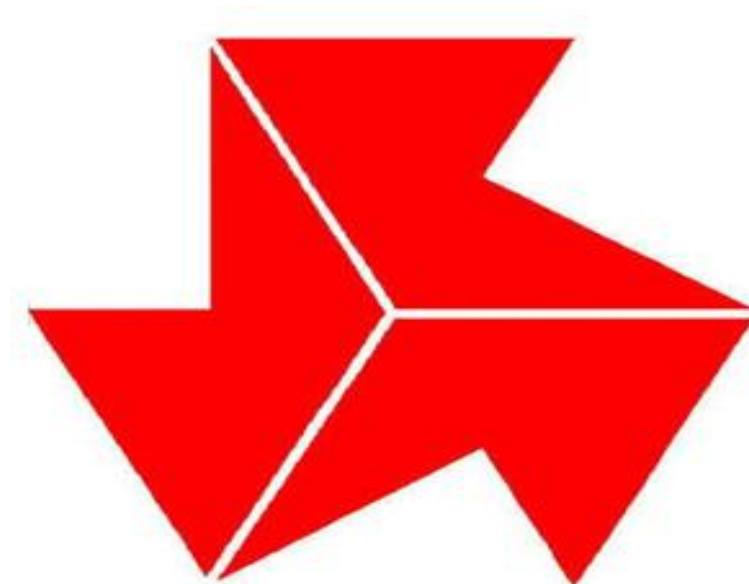


令和 8 年度

宮崎県高等学校新人大会自転車競技大会

<テクニカルガイド>



主催	宮崎県高等学校体育連盟 ・ 宮崎県教育委員会
後援	(公財) 宮崎県スポーツ協会 ・ 宮崎県自転車競技連盟
主管	宮崎県高等学校体育連盟自転車競技専門部

【大会概要】

1.ロード

- (1) 期 日 令和8年10月18日(日)
(2) 会 場 日南油津港特設コース(周長1.3km) 左回り(反時計回り)
〒887-0000 宮崎県日南市 588-122付近
(3) 競技種目 男子 26km(20周回)
女子 19.5km(15周回)

2.トラック

- (1) 期 日 令和8年10月23日(金)～令和8年10月25日(日)
(2) 会 場 ひなたペドローム宮崎
(3) 競技種目 (団体)4kmチームパシュート、チームスプリント
(個人)スプリント、ケイリン、1kmタイムトライアル、
3kmインディヴィデュアルパシュート、
4km速度競争、スクラッチレース、ポイントレース

3.競技規則 最新の公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則及び大会特別規則による。

4.表彰 各競技、1位～3位まで入賞した選手のみ表彰を行う

5.競技日程

(1) ロード

令和8年10月18日(日)

start	Finish	NO	カテゴリー	Event
7:00	～			役員集合、会場・コース設置準備
7:30	～			立哨担当役員MTG
8:00	～			開門(交通規制開始)
8:00	～			競技役員MTG
8:15	～			県高校新人大会受付開始～
8:30	～ 9:00			コース試走① ※交通ルールへの遵守する事。
8:45	～			MIYAZAKI CUP受付開始～
9:30	～ 10:15 (0:45)	1		県高校新人大会ロードレース 男子26.0km(1.3km×20周回) 女子19.5km(1.3km×15周回)

(2) トラック

大会1日目 令和8年10月23日(金)

start	Finish	NO	カテゴリー	Event
10:00				開門
12:00	13:00 (1:00)			指定練習
13:00				競技役員MTG
13:45				開会式
14:00		1	男子	スプリント予選
	14:25 (0:25)	2	女子	スプリント予選
				休憩60分
15:25		3	男子	1kmタイムトライアル決勝
	15:45 (0:20)	4	女子	1kmタイムトライアル決勝
				休憩60分
16:45	16:55 (0:10)	5	男子	チームパシュート決勝
17:10				表彰(TT、TP)
17:25				競技役員MTG

大会2日目 令和8年10月24日(土)

時刻	種目	性別	順位	選手名	結果
8:00	開門				
9:00	指定練習				
9:00	競技役員MTG				
10:00	3kmインテ・イク・イテ・アルパ・シュート決勝	男子	6		
10:30	3kmインテ・イク・イテ・アルパ・シュート決勝	女子	7		
	休憩60分				
11:30	チームスプリント決勝	男子	8		
11:40	チームスプリント決勝	女子	9		
	休憩60分				
12:40	スプリント1/4決勝	男子	10		
	休憩60分				
13:50	4km速度競走決勝	男子	11		
	休憩60分				
14:55	スプリント1/2決勝	男子	12		
	休憩40分				
15:40	スプリント決勝 1本目	女子	13		
	スプリント3-4位決定戦 1本目	男子	14		
	スプリント決勝 1本目	男子	15		
	スプリント5-8位決定戦	男子	16		
	スプリント決勝 2本目	女子			
	スプリント3-4位決定戦 2本目	男子			
	スプリント決勝 2本目	男子			
16:25	表彰 (IP、TSP、SP、MS)				
16:40	競技役員MTG				

大会3日目 令和8年10月25日(日)

8:00					開門
9:00	9:45	(0:45)			指定練習
9:00					競技役員MTG
10:00	10:10	(0:10)	17	男女	スクラッチレース決勝 (8km)
					休憩60分
11:10	11:15	(0:05)	18	男女	ケイリン1回戦
					休憩60分
12:15	12:45	(0:30)	19	男女	ポイントレース決勝 (20km)
					休憩60分
13:45			20	男女	ケイリン7-13位決定戦
	13:50	(0:05)	21	男女	ケイリン決勝
14:20					表彰式 (SC、KE、PR)
14:40					競技役員MTG
15:00					会場撤収

6. 会 場

(1) ロード

■コース図 ※交通規制 8:00~16:00 までとする。



■会場駐車場、会場レイアウト



- | | |
|------------|-----------------|
| ①大会本部 | ⑥観戦エリア |
| ②受付・招集・検車 | ⑦競技役員駐車場 |
| ③来賓者駐車場 | ⑧計測/決審/計時/周回 |
| ④選手・観戦者駐車場 | ⑨機材ピットエリア |
| ⑤選手ピットエリア | ⑩男子(小)トイレ |
| | ⑪女子トイレ（水産研修所の寮） |



- | |
|-----------------|
| ①大会本部 |
| ②受付・招集・検車 |
| ③来賓者駐車場 |
| ④選手・観戦者駐車場 |
| ⑤選手ピットエリア |
| ⑥観戦エリア |
| ⑦競技役員駐車場 |
| ⑧計測/決審/計時/周回 |
| ⑨機材ピットエリア |
| ⑩男子(小)トイレ |
| ⑪女子トイレ（水産研修所の寮） |



- ①大会本部
- ②受付・招集・検車
- ③来賓者駐車場
- ④選手・観戦者駐車場
- ⑤選手ピットエリア
- ⑥観戦エリア
- ⑦競技役員駐車場
- ⑧計測/決審/計時/周回
- ⑨機材ピットエリア
- ⑩男子（小）トイレ
- ⑪女子トイレ
（水産研修所の寮）

(2)トラック



【共通事項】

1 開会式・閉会式

(1) 開会式はロード、閉会式はトラックで実施する。

2 会場注意事項

■トラック

- (1) 競技場管理棟前駐車場には各校 1 台のみ駐車を許可する。
- (2) 役員の駐車場は管理棟前および管理棟前の階段下の駐車場を利用すること。
- (3) 荷物等を積み下ろす関係で競技場前に車を駐車させた後は速やかに車を移動させること。
※管理棟周辺ならびに競技場周辺の芝生への車での立ち入りは禁止する。
- (4) 保護者ならびに観戦者は運動公園の駐車場を使用すること（土・日は普通車の駐車料金 300 円）。
競技場周辺は駐車禁止とする。
- (5) 競技場エリア内・インフィールド内へは役員・選手・来賓以外の立ち入りは禁止する。
- (6) 走路に入る際は、地下通路を通してインフィールドから入ることとする。
- (7) 競技場管理棟への立ち入りは禁止する。トイレは競技場前（役員駐車場横）を利用して下さい。
- (8) インフィールド内に各学校ピットを設営する。
- (9) ごみは各自持ち帰ること。
- (10) 保護者観覧エリアはホームストレッチ以外の競技場外側からする

■ロード

- (1) 指定された駐車場へ駐車すること。
- (2) 地域の協力を得て開催できますのでモラルある行動をお願いします。ごみは各自持ち帰ること。
- (3) トイレが近くになくご不便かけますがご了承ください。

3 その他

- (1) 自転車への撮影機材（カメラ等）の搭載は個人情報保護の観点から禁止する。

(2) ヘルメットは JCF 公認及び JKA 認定（競輪用）ヘルメットを自転車乗車時は使用すること。

公認シールが貼付されていない、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用を認めない。

(3) 大会進行はアナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、宮崎県自転車競技連盟公式 SNS で配信する。なお、大会終了後に宮崎県自転車競技連盟 HP でも配信をする。大会中コミュニケは招集付近に掲示する。



大会特別規則

Ⅰ.ロード

(1) スタート方式

ローリングスタートする、コースの最終コーナーを回り直線に入った地点でリアルスタートとする。MOTO 審判の合図による。

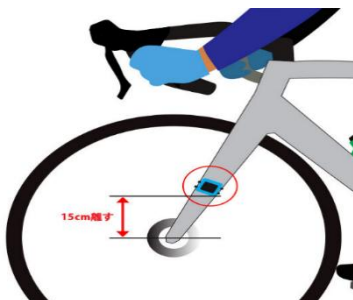
(2) 随行車両

MOTO 1 /先頭、MOTO 2 /後方、の 2 台配置する。場合によってサグワゴン、救急車両が加わる。

(3) 計測チップ・ゼッケン

受付で配布する「計測チップ・ヘルメットシール」を使用する。 ※各カテゴリー発送予定の 30 分前までに受付を終了する事。 ※計測チップはレース終了後直ちに返却する事。

計測チップ



フロントフォーク左側に設置する
中心部より 15 cm 程度上に装着こと

ヘルメットシール

ヘルメットシール（例）



ヘルメットシールは左右の側面に
番号シールを装着

(4) 機材ピット

Start/finish 地点の計測エリア北側を機材ピットエリアとする。機材ピットエリアへの機材搬入等は徒歩にて行うこと。随行車両による、ニュートラルサービスは行わない。

(5) ニュートラリゼーション

認められる事故が起きた場合はニュートラリゼーションを 1 周回認める。残り 3 周回以降のニュートラリゼーションは認めない。認められる事故は『パンク』『正当な落車』『自転車の重要な部分の破損』に限る。

(6) 補給・グリーンゾーン

補給・グリーンゾーンの場所は設けない。補給・ゴミを捨てたことが確認できた場合は失格とする。

(7) 関門・途中棄権

関門は設定しないが、周回遅れとなった選手はレースより除外する。

競技途中で自ら棄権する場合は、start/finish 地点の競技役員に伝えること。

(8) 招集・検車（バイクチェック）

招集・検車（バイクチェック）は各カテゴリー出走 15 分前までに終了する事、サインシートの署名は 10 分前までに終了する事。検車は日本自転車競技連盟競技規則に準じて行う。

※必ず整備された自転車に参加する事。

2.トラック

(1) 全体を通して

- ①エアロヘルメットの使用はタイムトライアル・団体種目のみ許可する。
- ②タイムトライアル種目は片方の自転車がセット完了後、カウントダウン(50 秒)を開始する。
- ③レース系種目において走行選手が 8 名より少なくなる場合は DNF ではなく-1LAP で処理をする。
- ④受付・招集を行い、検車を実施する。※重量 6.8kg 以上 出走 15 分前までに行う事。
- ⑤競争種目における競技中のハンドルの持ち替えは単独で走行してる場合のみ許容する。
- ⑥競技中に使用する靴下、オーバーシューズは、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。
- ⑦競技規則を熟読し遵守する事。罰則への抵触・違反により、注意・警告・降格・失格を適用する。
注意 2 回→警告 1 回 警告または降格 3 回→失格 同一種目競技にて警告 2 回→失格

(2) 1 km タイムトライアル

333mのトラックを 3 周で行う。スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発送で行う。フライング・事故等があった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。
2 回目は失格とする。

(3) インディヴィデュアル・パーシュート(男女 3 km)

333mのトラックを 9 周で行う。スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発送で行う。フライング・事故等があった際は直ちに両者再発送とし 2 回目は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

(4) スプリント

予選 200m フライング・タイムトライアルは電子計時とする。※状況により手動計時となることもある。

予選 200m フライング・タイムトライアルは 2 周半を走行するうちの最後の 200m を計測する。

スタートはバックストレッチ側ブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。

男子は予選上位 8 名による 1/4 決勝からトーナメントを開始する。

予選→1/4 決勝(1 回戦)→1/2 決勝(1 回戦)→3-4 位決定戦／決勝／から 3 回戦とする。ただし、5-8 位決定戦は 1 回戦のみとする。女子は予選上位 2 名による決勝のみとする。

(5) チーム・パーシュート

スタートはホーム中央線から単独チームの発送で行う。ホルダーは各チームで対応（不足時は競技役員で対応）。フライング・事故等があった際は直ちに再発送とし 2 回目は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

(6) チームスプリント

スタートはホーム中央線から単独チームの発送で行う。ホルダーは各チームで対応（不足時は競技役員で対応）。フライング・事故等があった際は直ちに再発送とし 2 回目は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

(7) ポイント・レース

男子：決勝 20 km (60 周回) 最初の中間スプリントは 12 周回目（残り 48 周回）

中間スプリント 8 周回毎 1 位・5 点 2 位・3 点 3 位・2 点 4 位・1 点

最終スプリント 倍点 1 位・10 点 2 位・6 点 3 位・4 点 4 位・2 点

主集団に追いついた選手 +20 点 主集団より 1 周回遅れた選手 -20 点

周回遅れて競争に支障があるとコミセールが判断した場合（入賞の可能性がない等含む）はレースから除外する。偶数番号はスプリンターレーン、奇数番号は外柵にそって一列に先着順に並ぶ。（1 番選手は先頭に並ぶ）

ホルダーは各チームからの対応とする。不足する際は競技役員が行う。1 週の競技外周回の後、フライングスタートとする。ニュートラリゼーションは 4 周回（1250m に近い距離）とする。ニュートラリゼーションの復帰が最後の 1 km 以内（残り 3 周回）となり競技に戻れない時は、事故前に累積したポイントおよび周回に基づき最終決定する。

(8) 4 km 速度競走

予選なしの決勝戦。

スタート位置は抽選にて決定する。周回先頭責任は、ホームおよびバック・ストレッチを先頭で通過することにより完了する。最終回の決勝線は、先頭責任数に加えない。順位の決定は、与えられた先頭責任を完了した競技者のフィニッシュ着順による。1 周回追い抜かれた競技者は、先頭責任完了者でも競走から除外する。ただし、当該競走成立に著しい支障を来す場合においてはこの限りでない。周回先頭責任回数は以下の表の通りとする。

出走人員	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	*	
周長	333.33	12	8	6	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	23
	400.	10	7	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	19
	500.	8	6	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	15

(9) ケイリン

(男子)(女子)

1 回戦→順位決定戦 (1 回戦上位 3 名が 1~6 位決定戦、1 回戦 4~7 位が 7~12 位決定戦)

333m のトラック 5 周回で実施する。スタートにおいて競技者はペーサーの直後で、抽選によって決定された位置を取ることとし、少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。速やかに追走しない場合は、その競技者を除外し再スタートする。ペーサーはスプリンターラインの内側を走り、スタート時は男 30 km/h・女子 25 km/h フィニッシュ前約 750m (残り 2.5 周回) の中央線を過ぎてトラックを離れるまでに男子 50 km/h・女子 45 km/h まで加速する。一人または、複数の競技者がペーサーの中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追抜いた場合、競技を中止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。スタート後、半周以内の事故が発生したときは、再スタートするが半周以後の事故は再レースにならない。ペーサーの後方に位置する間に、1 または数名の競技者が違反または反スポーツ的行動をした場合は競技を停止する。競技は失格とされる違反競技者を除外して再スタートする。ホルダーはチームスタッフが行う。不足する際は競技役員が行う。ペーサーの離脱は最終スプリントの状況であるので、各競技者はフィニッシュラインまで各自の走行ラインを保持しなくてはならない。

(10) スクラッチレース

男子:決勝:8 km (24 周回) 女子:決勝:8 km (24 周回) で実施する。

主集団に追抜かれた競技者はレースから除外する。

最終順位は、獲得周回を考慮に入れて、最終スプリントにより決定する。

ニュートラリゼーションは 4 周回 (1250m に近い距離) とする。

ニュートラリゼーションの復帰が最後の 1 km 以内となり競技に戻れない時は、事故前に累積したポイントおよび周回に基づき最終決定する。

偶数番号はスプリンターレーン (1 番選手は先頭に並ぶ)、奇数番号は外柵にそって一列に先着順に並ぶ。

ホルダーは各チームからの対応とする。不足する際は競技役員が行う。1 週の競技外周回の後、フライングスタートとする。